

授業科目名:	教員の免許状取得のための 必修科目	単位数: 2単位	担当教員名: 平田 乃美
教育心理学			担当形態: 単独
実務内容 (実務家教員の場合)			
科 目	教育の基礎的理解に関する科目		
施行規則に定める 科目区分又は事項等	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程		
「学位授与の方針」との関係			
DP2.共生社会創造のために、教育、福祉、環境、国際関係、スポーツ身体表現、等の専門的知見を得ることができる(専門知) DP4.個人や社会にとって必要な課題の解決のため、自律的な課題探究能力を身につけ実践することができる(実践力)			
授業のテーマ及び到達目標			
(1)教育心理学の対象や研究方法を学び、理論の根拠を理解する (2)発達の概念、理論、プロセス、規定要因等を理解する (3)学習の種類とメカニズムの基礎を理解する (4)動機づけとそれに影響を与える要因を理解する (5)学習指導の諸理論と方法、授業での学習形態と効果を理解する (6)知的能力・学力・人格・社会性の基礎を学び、子どもの多様性の源泉を理解する (7)学級集団の心理、教師-子ども関係、仲間関係等を理解する (8)子どもへの心理臨床的援助技法を学び、不適応や病理的傾向の対応を理解する (9)障害児の心理と特別支援教育を理解する 以上の理解を通して、教育現場で適切な対応ができるようになる 以上の理解を通して、教育現場で適切な対応ができるようになる			
授業の概要			
(1)上記9つのテーマについて、教科書を学修する (2)9つのうち2つのテーマを選び、レポートにまとめる (3)教員からのコメントを踏まえて科目修得試験(最終レポート)を作成する レポートはただ教科書をまとめるだけではいけない 教科書以外の資料を調べたり、考えたりしたことに基づいて、深く考察することが求められる 特に、科目修得試験では幼児期から青年期の「発達と学習」の理解が問われる (4)最終的に、教育心理学の「根拠」に基づいた教育を行えることを目指す			
授業計画			
第1回:教育心理学とはどのような目的をもった学問か、教育心理学の内容 第2回:教育心理学の研究法とそれぞれの特徴:教育の場での実験法・調査法・事例研究法・観察法 第3回:発達とは何か:発達概念の理解、発達の一般的な特徴、発達を規定する要因 第4回:「発達段階」と「発達課題」という考え方、発達と教育の関係 第5回:学習への動機づけ(学習意欲)(1):動機づけのプロセス、欲求・動機 第6回:学習への動機づけ(学習意欲)(2):外発的動機づけと内発的動機づけ、コンピテンス動機、有能感・自己効力感 第7回:学習への動機づけ(学習意欲)(3):原因帰属、無気力 第8回:学習のメカニズム(学習の起こり方としくみ)、問題解決としての学習、記憶のモデル・方略・記憶の内容 第9回:授業と学習指導の心理学:協同学習と学習の個性化、受容的学習から主体的学習に至る多様な学習指導の理論 第10回:学級集団の心理、教師-子ども関係 第11回:教育評価、知的能力の発達と測定、学力と学業不振などの学習評価 第12回:パーソナリティ、社会性、親子関係、仲間関係 第13回:子どもの不適応、生徒指導の重要な課題(不登校・いじめ・非行) 第14回:心理臨床的援助技法(カウンセリングと心理療法) 第15回:子どものさまざまな障害と障害に応じた対応、特別支援教育としての学校システム 科目修得試験			
スクーリングでの学修			
テキスト			
桜井茂男編著(2017)『改訂版たのしく学べる最新教育心理学 教職に関わるすべての人に』図書文化社、978-4810076905			
参考書・参考資料等			
鎌原雅彦・竹綱誠一郎(2015)『やさしい教育心理学(第4版)』有斐閣、978-4-641-22059-1 子安増生・田中俊也・南風原朝和・伊東裕司(2015)『教育心理学(第3版)』有斐閣、978-4-641-07245-9			
学生に対する評価			
レポート評価(50%)、科目修得試験(50%)			